

令和8年度銃砲刀剣類登録事務システム構築
業務委託仕様書

令和8年5月

新潟県

1. 業務概要

(1) 業務の目的

銃砲刀剣類登録業務を効率化・省力化するとともに照会者の利便性を向上させるため、登録業務のデジタル化を図る。

7万件を超える銃砲刀剣類の登録情報を適切に管理し、各種照会への迅速な対応や台帳から各機関への報告資料が出力可能であり、引き継ぎが容易で長期運用可能なデータベースシステムを構築する。

(2) 基本要件

本業務の遂行における基本要件は以下のとおりである。その他基本機能で設定可能な内容についても、協議の上で設定すること。

ア データ登録・更新機能

- ・銃砲刀剣類の情報（登録年月日、登録記号番号、審査委員氏名、発見届出、種別、長さ、時代及び作者、反り、目くぎ穴、銘文、鍛え、刃文、彫り物、外装、その他の特徴、制作承認年月日、備考、登録申請者住所・氏名、所有者変更情報住所・氏名・変更年月日）をデータベースに登録できること。
- ・登録済みデータを検索し、内容を更新できること。
- ・登録情報に付帯する形で銃砲刀剣類の画像を確認できるようにすること。
- ・県の電子システムから抽出した CSV データをシステムに取り込むことで所有者変更情報や住所変更情報を反映できるもの。
- ・不要データを削除できること。

イ 検索・フィルタリング機能

- ・銃砲刀剣類の情報（登録年月日、登録記号番号、審査委員氏名、発見届出、種別、長さ、時代及び作者、反り、目くぎ穴、銘文、鍛え、刃文、彫り物、外装、その他の特徴、制作承認年月日、備考、登録申請者住所・氏名、所有者変更情報住所・氏名・変更年月日）で検索できること。
- ・長さ、反りの範囲検索ができるようにすること。
- ・複数条件を組み合わせたフィルタ（例：時代＝鎌倉、種別＝たち）に対応すること。
- ・一覧結果のソート機能（昇順／降順）を有すること。

ウ データのエクスポート機能

- ・検索結果や全データを CSV 形式で出力できること。
- ・エクスポート対象の項目を選択可能とすること（例：種別・年代のみ）。
- ・フィルタ結果に基づいた出力に対応すること。（変更年月日等）

エ 帳票出力機能

- ・公安委員会へ提出する「登録通知書」および「譲受・相続による取得、貸付又は保管の委託通知書」に必要な刀剣の詳細情報を、所定の様式に基づき帳票として PDF 出力できること。また、所有者の居住都道府県ごとに出力可能であること。（別紙 1～2 参照）

オ ユーザー管理・アクセス管理

- ・ログイン履歴を1年以上保存すること。
- ・システムの重要データに関する更新操作について、操作履歴（監査証跡）を1年以上保存すること。
- ・保存対象及び詳細度は、運用・性能・保管コストを考慮し合理的な範囲とすること。

カ 操作性

- ・一覧画面で主要情報がわかりやすく表示されること。
- ・項目名・説明文はユーザーが理解しやすい表記とすること。
- ・PC操作に不慣れなユーザーでも分かりやすい構成とすること。

(3) 調達内容

本調達の内容となる委託業務は、下記のとおりである。（機器調達費用、運用コスト及びサーバーリース費用を含む）

ア 設計・開発・データ移行業務（令和8年7月1日から令和8年12月末までの6カ月を予定）

- ・再構築にかかわる作業
 - a 設計・デザイン
 - b 開発・データ移行
 - c 動作確認
 - d その他付帯作業

・納品物

以下の成果物を電子データ（Microsoft Word 形式と PDF 形式）で納品すること。

- a 本システムの稼働に必要な実行プログラム、設定ファイル、関連ファイル等のプログラム一式
- b ソフトウェア及びサーバ等の構成及び設定情報等一式
- c 設計書
- d データ移行報告書
- e テスト結果報告書
- f 操作マニュアル

・納品物の権利の帰属

システム作成に関する一切の著作権は本県に属するものとする。ただし、オペレーティングシステム・ミドルウェア・CMS等のパッケージは含まない。

イ 動作確認業務（令和9年1月から令和9年3月末までの3カ月を予定）

2. システムの要件

本業務の遂行における要件は以下のとおりである。

(1) 本システムの非機能要件

ア 通常時の業務量

- ・システムの利用者は、特定ユーザーのみとする。
- ・システムの同時アクセス数は、特定利用者の限られたアクセスのみとする。

イ 外部システム接続

- ・システムは、他システムや外部システムと接続しないものとする。

ウ 情報セキュリティに関するコンプライアンス

- ・新潟県情報セキュリティポリシー、新潟県個人情報保護関係例規、個人情報保護法、電子署名法、IT 基本法に順守すること。

エ セキュリティリスク分析

- ・システム開発において、セキュリティリスク分析を実施する範囲は、重要度が高い資産を扱う範囲、あるいは外接部分とする。

オ 利用制限

- ・認証された主体のシステムへの操作については、必要最小限のプログラムの実行、コマンドの操作、ファイルへのアクセスのみを許可とすること。

カ データ暗号化

- ・蓄積データについては、すべてのデータを暗号化すること。

キ 不正監視

- ・不正検知に必要なログ（ログイン/ログアウト履歴（成功/失敗）、操作ログ等）を取得すること。

ク 構築時の制約条件

- ・システム構築において、庁内基準や法令、条例等の制約がある（重要な制約のみ適用）ことに留意すること。
- ・システム運用において、庁内基準や法令、条例等の制約がある（重要な制約のみ適用）ことに留意すること。

ケ クライアント数

- ・システムは、複数のクライアントを管理できるようにすること。

コ 保守性

- ・登録情報および関連データを週 1 回以上自動でバックアップすること。
- ・ログを取得できること。

その他非機能要件で設定可能な内容についても、協議の上で設定すること。

(2) データ移行

移行対象は文化課が管理する銃砲刀剣類登録情報の全てとする。

銃砲刀剣類登録情報のエクセルデータを受託者の SE 作業で機械的に移行作業を実施すること。

3. システムの構成

(1)システム・ネットワーク構成

ネットワークの現行仕様、及び、ネットワーク変更対応の詳細仕様については、本業務開始後に本県より受託者に開示する。

暗号化されたファイル型データベースを利用すること。

(2)調達方針

受託者は、新システムに関わるソフトウェアのうち、県が用意すると明示したものを除き、必要なものは全て本業務において調達し、管理するものとする。

ア 性能

本仕様書に定める要件を満たすのに十分な性能を有すること。

4 マニュアルの作成

(1)マニュアル作成

ア 操作マニュアルを作成すること。

イ イラストや画面のハードコピーを用いて分かりやすく作成すること。

ウ 業務に不慣れな者でも理解できるように、平易な用語を用いること。

エ 異動時の円滑な業務引継を確保するため、利用開始から日常操作、障害対応、バックアップ・復旧までを網羅したマニュアルであること。

オ システム稼働後に操作マニュアルに従い、対面で日常操作、障害対応、バックアップ・復旧までの操作説明を実施すること。

5 基本的スケジュール

今後の基本的スケジュールは次のとおりとする。なお、以下は現時点での予定であり、これをもとに受託者は落札後2週間以内に詳細スケジュールを提出すること。

(1)設計・開発・データ移行の期間

令和8年7月1日から令和8年12月31日まで

(2)動作確認の期間

令和9年1月1日から令和9年3月31日まで

6 その他

(1)打ち合わせ及び連絡調整

仕様の確認、業務の進捗報告等を行うため、月1回以上本県にて対面での打ち合わせを行い、実施後速やかに議事録を提出すること。

(2)追加提案

本業務の仕様は、現在本県が最低限必要と考えているものである。受託業者の専門的立場から、本業務の費用範囲内で効果的な提案がある場合は追加提案を行うこと。また、設計段階で主要画面、帳票、CSV 取込仕様について県確認の機会を設けること。

(3)仕様書に定めのない事項

本仕様書に定めのない事項については、県と受託者において協議の上決定する。

【問い合わせ先及び各種書類の提出先】

新潟県観光文化スポーツ部 文化課 文化資源活用推進係

〒950-8570 新潟市中央区新光町4-1

電話番号 025-280-5619

登録通知書

登録記号番号	種別	長さ	登録申請者氏名	登録申請者住所
新潟県 第 号				
新潟県 第 号				
新潟県 第 号				
新潟県 第 号				
新潟県 第 号				
新潟県 第 号				
新潟県 第 号				
新潟県 第 号				
新潟県 第 号				

譲受、相続による取得、貸付又は保管の委託通知書

登録記号番号	種別	区分	新所有者住所	新所有者氏名	旧所有者住所	旧所有者氏名	変更年月日
新潟第 号							
新潟第 号							
新潟第 号							
新潟第 号							
新潟第 号							
新潟第 号							
新潟第 号							
新潟第 号							
新潟第 号							
新潟第 号							
新潟第 号							
新潟第 号							
新潟第 号							
新潟第 号							